

(記者資料提供)

平成 29 年 4 月 24 日
金沢市保健所地域保健課
担当：本吉・加藤
電話：076-234-5105
(本件に対する問い合わせは 19:00 時まで受け付けます)

麻しん患者の発生について（第 3 報）

4 月 23 日夕方、金沢市保健所に麻しんを疑う津幡町在住の患者について連絡がありました。同日夜、県内医療機関を受診し、石川県石川中央保健所で検査したところ、4 月 24 日、麻しん陽性であることが判明しました。

当該患者は、金沢市立小坂小学校の教員で、すでに報道発表されている患者 2 例と同様、4 月 7 日の同校入学式に出席していました。なお、昨日報道発表した 40 代女性（金沢市在住）も同校の教員であることを報告します。

今後、感染がさらに拡大する可能性がありますので、広く情報提供するとともに、感染の拡大防止のため、注意を喚起するものです。

1. 患者の概要

30 代 男性 石川県津幡町在住（教員）

2. 発生経過等

4 月 20 日 体調不良、のどの痛み

4 月 21 日 悪寒があり、夜中に発熱（37.8℃）

4 月 22 日 近医を受診し、風邪と診断

4 月 23 日 発疹出現、頭痛あり、県内医療機関を受診

4 月 24 日 遺伝子検査の結果、麻しん陽性と判明、当該患者は自宅療養中

●金沢市からのお願い

1. 症状があるときの対応

症状から「麻しん」が疑われた場合、必ず事前に医療機関に連絡のうえ、その指示に従って、速やかに受診してください。また、受診の際は、周囲の方に感染させないように、公共交通機関等の利用を避けてください。

2. 予防接種歴についてご確認ください

(1) 平成 2 年 4 月 2 日以降に生まれた方は、麻しんの予防接種を 2 回受ける機会があったため、感染の可能性は低いが、母子手帳で 2 回接種が済んでいるかをご確認ください。

(2) 平成 2 年 4 月 1 日以前に生まれた方は、幼児期に 1 回予防接種を受けてから相当の年月が経過しているので、感染防御のための十分な免疫がない可能性があります。医療機関にご相談の上、ワクチン接種を検討してください。

3. ご不明な点やご相談等は、金沢市保健所またはお住まいの地域の保健所にご連絡ください。

【麻しんの症状】

- ① 潜伏期間（感染者と接触してから症状が出るまでの期間）は概ね 10 日から 12 日程度
- ② 初期症状は、発熱や咳・鼻水などの風邪症状や、目の充血、関節痛など様々な症状で、一旦解熱した後、再び高熱が出ると同時に全身に発しんが出現し、4～5 日高熱が続く
- ③ 感染期間は、上記の風邪症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日程度
- ④ 麻しんワクチンを 1 回のみ接種している場合、典型的ではない症状を呈することがあるため（修飾麻しん）、風邪と誤っていても実際には麻しんの可能性があるため注意が必要。

【特記事項】

患者及び家族等の個人情報について、プライバシーの保護の観点から、提供資料の範囲での報道をお願いします。